

第1会場 13:10~14:00

特別講演 COVID-19対策への国内の体制づくりとGlobal Healthの戦略



参議院議員

武見 敬三 (たけみ けいぞう)

1951年11月5日東京都港区生まれ。

1974年慶應義塾大学法学部政治学科卒業、1976年同大学法学研究科修士課程修了。

1980年東海大学政治経済学部政治学科助手、1987年助教授、1995年教授就任。同年参議院議員に初当選。現在5期目(東京選挙区)。

1984年～87年、テレビ朝日CNNデイウォッチ、モーニングショーのキャスターを務める。

公務では外務政務次官、参議院外交防衛委員長、厚生労働副大臣、政務では自民党総務会長代理、参議院自民党政務審議会長を歴任。国連事務総長の下で国連制度改革委員会委員、同じく母子保健改善の為の委員会委員、世界保健機関(WHO)研究開発資金専門家委員会委員を務める。

2007年～2009年までハーバード大学公衆衛生大学院研究員。

現在、自民党総務副会長、新型コロナウイルス感染症対策本部本部長代理、新型コロナウイルスに関するワクチン対策PT座長代理、感染症対策ガバナンス小委員会委員長、国際保健戦略特別委員会委員長、海洋総合戦略小委員会委員長、世界保健機関(WHO)UHC担当親善大使、人間の安全保障特別報告書ハイレベル諮問パネル共同議長、議連・勉強会では医療政策研究会会長、ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟会長等を務める。

日本国際交流センターシニア・フェロー、長崎大学等にて客員教授を務める。